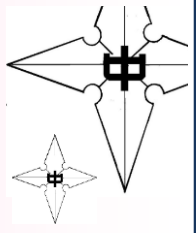
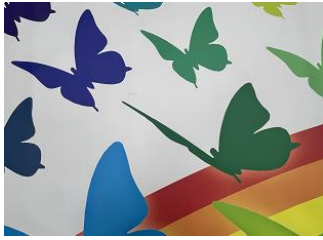
	<h1>南浦和中だより</h1>	
〒336-0026 さいたま市南区辻 6-1-33	TEL 048(863)0753	
FAX 048(836)1589	さわやか相談室直通	TEL 048(837)5909

『SAY YES』

校長 おお ころ うち のり かず 大河内 範一



思い返せば、私の人生では、基本的に頼まれたことは引き受けるようにしてきた。まあ、「すべて」と言い切りたいところであるが、数回ほどあまりよくない返事をしてしまった記憶がある。(どうしても納得できなかつたのでね…人間なのでね…)

「YES (はい)」という返事は、単に相手の依頼を受け入れるだけの言葉ではない。そこには「まずやってみよう」というプラス思考や、「あなたの言葉を大切にしています」という優しい気持ちが含まれている。人の心を明るくし、その場の雰囲気や前向きにしてくれる、不思議な力を持った言葉なのである。

また、素直に「YES」と言える人の周りには、いつの間にか人が集まり、協力が生まれ、温かな輪が広がっていく。頼まれ事は、時に負担に感じることもあるが、そこには必ず学びがあり、誰かの支えになっているという喜びも生まれる。私自身も頼まれ事には気持ちよく「YES」と応え続けてきた結果、「大河内さんに頼めば、何とかしてくれる (たぶん…)」という信頼関係を築くことができたのだと思っている。

日常生活で交わされる基本的なあいさつも、広い意味で「YES」の一つであろう。「おはよう」「ありがとう」「お願いします」…、こうした言葉は、相手を認め、互いに気持ちよく過ごすための小さな橋渡しとなる。心が込められたあいさつが自然に行き交う学校は、それだけで安心感と活気に満ちてくるものである。

しかも、この「YES」という返事には、言っている本人を少しだけ「いい人」に見せてくれるという便利な一面もある。声の調子を明るくすれば、「今日は調子がよさそうだな」と思われ、眠そうな声で「はい…」と返しても、「頑張っているからだな」と、何となく応援される。たった一言の返事で人間関係が円滑になるのだから、実にありがたい仕組みである。使わない手はない。

そして、「YESのある暮らし」は、知らず知らずのうちに幸せを呼び寄せてくれる。大きな出来事が起こるわけではないが、さりげない返事や自然なあいさつが積み重ねることで、心に明るい風が吹き込む。やがて学校全体にも爽やかな空気が流れていく。

さて、令和8年度がスタートした。今年度も校内外の環境を整備し、カラフルで美しく、安心・安全で明るい学校づくりを進めていきたいと考えている。また、学校教育目標の副題を『開校80周年を記念し、学校に携わるすべての人々の Well-being の実現を目指して』とし、保護者や地域の方々にも、学校からたくさんの幸せを発信できればと思っている。生徒の皆さん、保護者や地域の皆様など、本校に関わるすべての人々に幸運が舞い込むことを願い、教職員一同、明るく爽やかに、そして「YES!」と口にしながら頑張っていきますので、1年間、どうぞよろしく願いいたします。